

# ご法要

故人のご遺徳を偲び、  
思い出を語り合う時…



## お気軽にご相談下さい

### ご法要までの準備と段取り

法要は、亡くなった人を偲ぶ大切な行事です。心のこもった供養ができるよう、主催者はあらかじめ準備の段階から責任を持って務め行いましょう。

2ヶ月前

#### ■日取りを決める

日取りは故人の命日が正式ですが、参列者の都合を考慮して、土曜日、日曜日に行われることが多いようです。また、命日より繰り上げて設定し、僧侶の都合をお伺いして決めます。一般的には最長で命日の1ヶ月前から行うことが可能です。

#### ■時間を決める

時間は午前11時から午後1時頃までがよいでしょう。会食の席をもうけるなら午前中に法要を行い、お昼時に食事の席に着くというスケジュールが理想的です。

#### ■招待者

故人との関係を考慮して決めます。親戚はもちろん親しくしていた友人も含め盛大に行います。

#### ■場所を決める

当ホテルでは法要からその後の会食までご利用いただいております。

#### ■案内状の準備

案内状の作成は2カ月くらい前に作業に入り、1カ月前にご招待者の手元に届くようにするのがよいでしょう。

1ヶ月前

#### ■案内状を発送する

日時、会場、会食の有無を明記し、必ず出欠の返信用はがきを用意します。案内状は、当ホテルでもご用意しておりますので、お気軽にご相談下さい。

2週間前

#### ■引き物のご用意

品選びの基準として、あまりがさばらないもの、貰ってじゃまにならないものを選びます。お茶、椎茸、のり等の日用品が一般的です。ご予算は3千円～5千円程度が一般的です。当ホテルでも引き物のご注文をお受けしておりますのでご相談下さい。

### 施主のあいさつ例

#### ◇法要でのあいさつの組立

主催者側のあいさつは、ふつう次の組立で行われます。

- ①列席への感謝 ②近況報告、現在の心境
- ③遺志、遺訓の継承を誓い、指導・支援・厚誼を願う
- ④飲食を促す ⑤結びのあいさつ

#### ◇元気を取り戻した様子を印象づける

初七日、四十九日、一周忌と、命日が遠ざかるに従い、悲しみがやわらぎ、元気を取り戻してきた様子を、強く印象づけるようにします。

—(例)—

- 本日は〇〇〇の〇回忌にあたりましては、心ばかりの法要を営みたく、生前、故人が特にご厚誼をいただいております方々にお越しをお願い申し上げた次第でございます。
- 本日はご多用中にもかかわらず、このようにたくさんのおみなさまにおいでいただき、まことに感謝にたえません。
- 〇〇が黄泉の国に召されて早一年が過ぎ、私始め家族は、ある程度心の整理がつきつつあります。
- 生前中に頂戴した温かいご芳情、ならびに葬儀に際してのご配慮、さらにはその後のご交誼に対しまして、深く感謝いたします。なにとぞこれにおこりにならず、今後ともよろしくお引きまわしくさせていただきますように…。
- 〇〇は、みなさまも存じのように、格別賑やかな事が大好きでしたので、本日もこのように数多くのおみなさまにお集まりいただけたことを、心から喜んでいてに違いありません。
- せめて今宵は、故人が日頃好物にしておりましたご酒なりとお酌みかわしていただきまして、ゆるゆるご追悼いただければ、一同これに越した幸せはございません。
- 今日はゆっくりおくつろぎのうえ、粗餐ではございますが、〇〇の生前同様に、お酒なども十分召し上がっていただきますよう、お礼に添えてお願い申し上げます。
- 本日のご来光に改めて感謝申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



オホーツクの幸と天然温泉  
MOMBETSU PRINCE HOTEL

紋別プリンスホテル

〒094-0004

北海道紋別市本町7丁目3-26 TEL(0158)23-5411